



春山でカニとスキーを楽しむ

海谷・頸城山塊

放山 山スキー

毎年のように行われているトマの伝統「カニ山行」、私もようやく参加できました。天気によれば放山の先に幕場を伸ばし、あわよくば空沢山までという計画でしたが、天気には恵まれず放山まで。でも、美味しい山行となりました。

3月23日（土）：曇り

天気は今一でテンション下がる。まずはカニを仕入れに、開店9:00を待ちきれず早めに道の駅へ。カニ祭りが開催中で1杯100円のカニ汁を味わい、越前カニ、貴重なドロエビ、ひものを仕入れ出発。

シャルマン火打スキー場のゲレンデトップからガスの中、左手の雪庇を注意しながら進む。軽いラッセルで滑りに期待が高まる。天気が良くないため、放山の手前の樹林内を幕場とする。ここで1本滑るという選択肢もあったが、スキーツアーの基礎技術であるトマハウスの設営訓練を兼ねて、早速、宴会場の設営を開始し、1時間ほどでテーブル、椅子付きの小部屋が誕生。早々に買い出した食材を並べ、宴会開始となりました。

2月10日（日）：晴れ、山はガス

寝る頃には満点の星空だったが、未明からは小雪が舞い、出発時には晴れ、春の天気展開は早い。

昨夜の新雪がうっすら積もり、霧氷の木々が美しい。少し登ると放山。残念ながら空沢山や焼山の山頂はガスの中だが、山のスケールは分かるし、スキーで楽しめそうなルートがたくさん見え



簡易宴会場



越前カニとドロエビ



霧氷が美しい



空沢山や焼山はガスの中

る。皆が通う、面白そうなエリアであることを納得。

空沢山は無理だが、折角なので、放山の西斜面を滑りに行く。上部はガリガリ、樹林内はやや重い新雪でそれなりに楽しめたものの視界が落ちてきて細かい沢形が良く見えず、100mほど滑って登り返し。あとは、デボした荷物を回収して、快適に滑りスキー場に下山。

噂の「カニ山行」、楽しめました。

【行程】

2/9 シャルマン火打スキー場トップ (11:10) ~放山
北東 1130m 幕場 (12:05)

2/10 幕場 (8:30) ~放山 (8:40) ~放山西 1073 地点
(9:20) ~幕場(10:30/11:15)~スキー場(11:50)



天場の下は、全荷でも快適